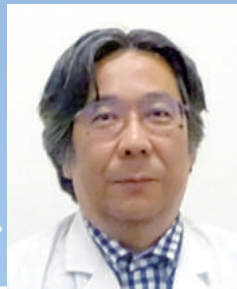


昼間の眠気、気になりませんか？

睡眠時無呼吸症候群について

千代診療所所長
呼吸器科 鍛治 修

睡眠時無呼吸症候群について

睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome) 【以下SAS】という病気をご存じでしょうか？簡単にいうと眠っているときに無呼吸を一定時間以上繰り返し、熟睡できないため昼間に眠くなる病気です。SASは熟睡を妨げるだけではなく、生活習慣病や高血圧症、心臓病、糖尿病などとの関係が明らかになっています。いびきをかく、熟睡感がない、起床時に頭痛を感じる、体重が増えた、夜間の排尿回数が増えた、昼食後などに強い眠気を感じるなどの症状があればSASが潜んでいる可能性があります。当院ではSASの診断と治療を積極的に行っていますので是非ご相談ください。



診断と治療までの流れ

- 1 上記の症状が気になる方や健診で受診を勧められた方は当院SAS外来か呼吸器外来を受診し詳しい問診と診察を受けていただきます。
- 2 まずはじめは自宅でできる簡易PSG検査を検討します。
- 3 検査結果が、軽症の方は生活指導を受けていただきます。中等～重症と診断された方は、1泊入院で精密PSG検査を受けていただきます。はじめから精密PSG検査をする場合もあります。
- 4 検査結果によりCPAP治療「経鼻的持続陽圧呼吸療法 (Continuous Positive Airway Pressure)」対象かどうか判断させていただきます。その後の治療の説明をします。
- 5 CPAP治療を導入された方は主に当院のSAS外来で月に一度診察を行います。慣れが必要な治療ですので特に導入初期は細かく援助していきます。多くの患者さんが、CPAP治療に成功しています。眠気やいびきが起きなくなり熟睡感を取り戻せます。

検査費用

簡易PSG検査

3,000円(3割負担の場合)

精密PSG検査(一般入院)

29,000円(3割負担の場合)

検査実施は月～金曜日

- 働いている方も受けやすい
検査は1泊入院が必要ですが、夜7時から朝7時で終わりますので、翌日の仕事も可能です。土曜日の入院もあります。
- 食事も用意しています。



※写真はイメージです

C-PAP(鼻マスク)利用者の声

K・M様

治療前の私は、どんなに睡眠を取っても昼間の会議で眠気が取れず周囲に居眠りを指摘される有様でした。ところが、ある医師からSASではないかという指摘を受けて検査し病気が分かったのです。千鳥橋病院で第一号の患者でした。今は毎日すっきりとした目覚めが約束され居眠りもありません。思い当たる方は思い切って検査を受けましょう。確実に毎日の生活の質が上がります。

睡眠時無呼吸症候群は放置するときちんと治療した方に比べて生存率が明らかに低下しますし、生活の質が落ちます。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 千代診療所代表
☎ 092-651-0726